

# 県公社の たより

2017年春号  
【第20号】

発行 神奈川県住宅供給公社  
<http://www.kanagawa-jk.or.jp>



フロール新川崎が、平成 29 年 3 月に完成しました。「ママ&パパ子育て応援プロジェクト」をコンセプトとし、174 戸の賃貸住宅のほか、建物の一部に一時預かり保育機能を兼ね備えた川崎市認可保育園を併設しています。住宅内部や共用部も子育てにやさしい環境を整備し、周辺的环境と併せてミキハウス子育て総研より「子育てにやさしい住まいと環境」の認定を取得しました。

新しい「公社の賃貸」  
フロール新川崎が誕生しました。



「ミキハウス  
子育て総研」認定

子どもたちや子育て家族が、快適かつ安心・安全な暮らしを送れるように、ミキハウス子育て総研が定めた認定基準を満たしています。

インターネットからは「神奈川県」で検索！

<http://www.kousha-chintai.com>

神奈川県

検索

公社  
Facebook

# 団地コミュニティの活性化を目指して

県公社の  
新たな挑戦



今回は、神奈川県住宅供給公社が行っている様々な取り組みについて、その概要をご紹介します。

## 孤独死対策

超高齢社会を迎えた日本において、孤立死はとても深刻な問題であり、それは公社の経営する賃貸住宅においても例外ではありません。平成28年度は、これまでに15件の孤立死が発生しており、いずれも高齢のご入居者です。

このような状況が数年前から問題視される中、公社はご入居者と管理会社の三者で「孤立死等防止検討会」を立ち上げ、ここでの検討の結果、平成26年度から民間組織・自治体等と「孤立死等対策に関する協定」を締結し始め、見守りネットワークを広げることによる孤立死の防止に取り組んでおります。この具体的な活動は次のようなものです。

- ① 公社から入居者のみなさまへ「孤立死防止に関わる情報」の周知。
- ② 管理会社による高齢単身ご入居者への見守り活動。
- ③ 自治体主導による地域見守り事業への事業者登録。
- ④ 自治会やご入居者、協定締結先等からの通報に基づく安否確認。

協定の締結先は、平成29年2月現在、自治体が12市町、民間組織としては神奈川県新聞販売組合様、京浜新聞販売組合様、東京ガス株式会社様の三者となります。

このような取り組みは、少しずつ成果を出し始めています。平成28年度は、16件の安否確認によりご入居者の無事を確認し、また、入居者のみなさまの見守りに対する意識の高まりを感じています。

公社では、引き続き関係各所と協力し、このような活動を粘り強く続けていく方針です。



東京ガス株式会社様と締結した「孤立死等対策に関する協定」の調印式

※ 孤立死等の発生件数は、いずれも平成29年2月末時点の件数です。

## 団地活性サポーター制度（学生入居）

高齢者のみなさまが元気で生き生きとたくらしを続けるためには、栄養・身体活動・社会参加が重要だといわれています。このうち社会参加について、公社では神奈川県立保健福祉大学の学生の方々を団地活性サポーターとして団地に迎え入れ、自治会活動などにご参加頂くことで団地コミュニティを活性化し、その副次的な効果として高齢者のみなさまの社会参加機会を増やしていこうという試みを浦賀団地にて始めました。

浦賀団地は、公社経営団地の中でも高齢化率が高く、世帯主様の64%が65歳以上という状況にあります。そのような状況の中、平成29年2月から4月までの間に、5人の学生さんが公社の取り組みに興味を示し入居します。この若い力の活躍に期待するとともに、多様な人々が暮らすことのできる「すまいづくり・まちづくり」を公社は模索して参ります。



浦賀団地に入居し、コンサートのチラシの配布を手伝ってくださった学生さん



上から、相武台団地の「ひばりカフェ」、広場で行われたイベント、「けやきこども食堂」

## 空き店舗の活用

団地コミュニティを活性化するためには、多くの人々が集まることによる賑わい・活気が必要であると考えます。そこで、公社は団地内商店街を中心とした活性化の取り組みとして、「相武台団地商店街グリーンラウンジ・プロジェクト」を相武台団地にて展開しています。

平成27年12月には、国の補助制度である「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」を活用したプロジェクト第1期として店舗「ひばりカフェ」がオープンし、平成29年4月には第2期の学童保育がオープンします。今後も様々な店舗がオープンする予定です。

商店街にある広場ではイベントが開催され、「ひばりカフェ」の2階にあるカルチャースクールでは毎日のように教室が開かれています。さらに、空き店舗をスポット的に活用していく試みとして、「けやきこども食堂」が平成28年12月と本年2月に開催されました。この「けやきこども食堂」は、こどもたちの栄養バランス改善などへの取り組みとして、有志の方によって行われています。

このように、ご入居者、商店街や地域の方など、多くの方々のお力添えにより、地域コミュニティが育まれています。

## 持続循環型のまちへ 横浜若葉台のマスタープランづくり

人、くらし、住宅、団地、街、コミュニティ……まちづくりの大切な要素として、持続可能性もまた欠かすことができません。

横浜若葉台は、初期の入居開始から40年が経過し、今後は急激な人口の減少と少子高齢化、世代交代が進行すると予想されています。また、住宅や商業施設をはじめとする建築物等の経年劣化も進んでいます。そこで、横浜若葉台では、「若葉台を将来にわたって選ばれ続けるまちとして持続させる」ことなどを目的に、平成28年2月、自治会、管理組合、各種関係団体、一般財団法人若葉台まちづくりセンターなどとともに、「横浜若葉台マスタープラン策定委員会」が組織されました。このマスタープランとは、地域の関係者全員で共有するまちづくりの指針です。

今後は、このマスタープランにより継続したまちづくりの実践や関係者の取り組み、さらには都市計画の変更などが期待されているところです。

横浜若葉台で行われたワークショップ①と、マスタープラン策定委員会②

住宅内の修繕（模様替え申請を含む）、共用部分の修繕・清掃・保守点検等のお問い合わせは…

横浜若葉台にお住まいの方

（一財）若葉台まちづくりセンター ☎ 045-921-3361  
FAX 045-921-3365

水曜・祝日を除く 8:30～17:30。それ以外の緊急時は防災センターが対応します（☎は、まちづくりセンターと同じ）。

横浜若葉台以外の団地にお住まいの方

（一般社）かながわ土地建物保全協会の各サービスセンター

|     |                                   |    |                                   |
|-----|-----------------------------------|----|-----------------------------------|
| 川崎  | ☎ 044-511-2500 / FAX 044-522-9405 | 湘南 | ☎ 0466-43-7731 / FAX 0466-43-7734 |
| 横浜北 | ☎ 045-933-0593 / FAX 045-932-4865 | 県央 | ☎ 046-251-2901 / FAX 046-255-6819 |
| 横浜南 | ☎ 045-778-4425 / FAX 045-778-4428 | 西湘 | ☎ 0463-71-1839 / FAX 0463-73-0428 |

夜間、土・日曜、祝日は、緊急連絡センター☎ 045(212)1889へ



## リノベーションによる 商品価値の向上

団地コミュニティの活性化には、新しいご入居者が増えていき、団地住民のみならずの多様性が高まることも大変重要な要素です。とりわけ建設から長い月日が流れた団地では、商品価値が目減りし、将来のご入居者を獲得する力が減少しています。こうした状況への対応として、公社は二宮団地にて「里山団地」で「二宮スタイル」というコンセプトのもと、リノベーションされた住宅での生活提案と多面的な活動（共同農園、共同里山、コミュニティダイニングの運営など）により、これまで注目される機会が少なかった二宮の魅力を発信しています。

リノベーションとは、既存の建物に大きな改修を行い、用途や機能を変更することで性能や付加価値を高めることです。二宮団地では、2DKをワンルームにするなど間取りの変更を行うとともに、地域の木材を活用して床面をフローリングにしたり、オリジナルデザインのキッチンをお選びいただけたり、お住まいになる方の生活スタイルや予算に合わせてお好みのプランを選んでいただけるように、リノベーションプランを設定しました。

▲県内産の木材を利用したリノベーション住宅①とオリジナルのキッチン②



二宮団地のワンルーム化したリノベーション住宅



今回は、神奈川県住宅供給公社の比較的新しい取り組みをご紹介します。このように、公社は住宅の管理のみならず、団地コミュニティや地域の発展のため、持続可能な社会の実現のため、様々な人々のご協力を得ながら多面的な価値創造に取り組んでいます。

公社の賃貸住宅にお住まいになる方々が、安心・安全で豊かなくらしを実現するお手伝いができるよう、今後も公社はこうした活動に精力的に取り組んで参ります。

### 県公社のたより

第20号 2017年4月1日発行

次回・第21号は  
2017年10月発行予定です

バックナンバー（過去発行号）は  
当公社ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.kanagawa-jk.or.jp/residents/>

【企画・編集】

神奈川県住宅供給公社

「県公社のたより」担当

〒231-8510 横浜市中区日本大通33番地  
☎045(651)1864 FAX 045(671)0905  
営業時間 平日 8:30～17:30

《E-mail》 [tayori@kanagawa-jk.or.jp](mailto:tayori@kanagawa-jk.or.jp)

### 投稿募集。ご感想もお聞かせください！

「県公社のたより」では、みなさまからの写真やお便りの投稿を募集しています。また、本紙の内容・構成に関わるご感想やご意見も、お気軽にお寄せください。

- 写真投稿「わが団地のワンショット」＝癒いや潤いある団地生活を題材にした作品にコメント（写真説明）を添えてお寄せください。応募写真は、①プリントならLサイズ以上、②デジタルデータならJPEG形式で500KB～2MB程度のファイルサイズでお願いします。
- 「お便り」・「お客様の声」＝日常生活に関わる「ちょっといい話」や、当公社へのご意見・ご質問を手紙・メール・FAXにてお寄せください。
- いずれの投稿も団地名、住戸番号、氏名、電話番号を必ずご記入の上、「県公社のたより」担当までお送りください（掲載に際して匿名をご希望であればその旨お申し出ください）。

広告



東京海上日動

〒220-8565 横浜市西区みなとみらい3-6-4(横浜中央支店・金融公務課)  
TEL:045-224-3519 FAX:045-224-3520

### 【広告主さま募集中！】

県公社のたより（発行部数14,000部、年2回発行）に広告を掲載しませんか？  
ご興味のある方は、「県公社のたより」担当  
☎045-651-1864へお気軽にお問い合わせください。